



中央聖書神学校 Central Bible College CBC後援会だより

第40回記念全国聖会

仙台で持たれた第40回記念の全国聖会において後援会の広報活動に力をつけました。聖会参加者のために用意した提供資料に「会員募集のチラシ」と「払込取扱票付きの後援会入会のお願いの二枚を封入していただきました。また、聖会プログラムの一つとして後援会の集いを設けて頂きました。聖会二日目午後の「CBC後援会」には志を同じくする兄弟姉妹にお集まりいただきました。開始時刻には理事の先生方が来場され細井眞理事長からご挨拶を頂戴しました。*「CBC後援会」は二面



聖霊神学院を発展的に解消し中央聖書学校が発足しました。教団発展の源は伝道者と牧会に努め信徒を育てた牧師、伝道者の働きに負うことが多く、その牧師伝道者の育成訓練に努めた聖書学校の貢献は語りつくせないものがあります。この聖会でも教団の発展に貢献した方々や今後の発展に貢献する方々が多くおられることを目の当たりにした聖会でした。第一聖会では正教師按手札、第二聖会では勤続30年表彰式、補教師紹介、第三聖会では献身決心者が大勢登壇した。

今日でも宣教の拠点である教会の働きの指導者は牧師であり、その牧師、伝道者を育て訓練する中央聖書神学校が肅々とその使命を果たしていることが、日本の宣教、教団の発展の力の源である、と言えるのではないのでしょうか。教団発展の基となる中央聖書神学校を盛り立てるため1977年牧師の発案で後援会の働きが始まりました。こうしてみると牧師先生に頼り切ってきた事が分かります。

礎が堅固に据えられた後援会は信徒の手にゆだねられたのは二年前です。今は使徒の働きの中に見るように信徒が財と力を用いて牧師、伝道者と共に同労者と呼んでいただけるような働きをすべき時を迎えているのではないで

しょうか。訓練の中にいる神学生が専ら学びに専念できるように応援することは信徒の勤めではないでしょうか。同信の友がその生涯をささげると知れば関係ないとは言えません。力を持ち支える働きができる教会が支援する体制を強化するべきであると思う。献身者の訓練期間を十分に支援する体制を作りたい。皆様の後援会への加入をお願いいたします。

【参考】「米百俵」

戊辰戦争後、長岡藩は困窮していました。そこへ支藩の三根山藩からお見舞いとして米百俵が届きました。これを小林虎三郎は、「食えないからこそ、学校を建てて人材を育てるのだ」という信念を貫き、皆の反対を押し切って学校を建てました。それが長岡の復興に繋がっていきました。



〔後援会活動〕 8月清掃ボランティアのご奉仕の後はバーベキュー

* 関連記事は三面に掲載しました

第40回記念全国聖会に集う全国の教会・信徒に向けて後援会活動の報告と後援会への入会をお勧めするべく、休憩室や聖会ロビーに後援会紹介ブースを設けました。

聖会ロビー設けられたCBCと同後援会のブースでは入会の勧めポスターを掲示し、後援会紹介資料の配布並びに入会受付を致しました。また聖会記念として神学校マーク印刷のマグカップを千円で販売、一部の方にはアンケートをいたしました。

まだまだ認知されていないと思われました。



後援会の富山委員と事務方の富山夫人・姉

聖会二日目午後後に開催された後援会の集まりでは、21名が参加し、様々な観点から話し合われました。

後援会委員をお世話役として参加

者の意見交換から後援会に対する意見具申まで多岐にわたる話し合いの時間となりました。



主な提言は、神学生への支援は厚くしたいがそのために働いている後援会の活動が知られていないので、もっと知らせしてほしい、情報共有が大事だということです。また、全国組織の教団なので、全国の信徒の幅広い協力を引き出すことが必要である、そのためには各都道府県に連絡係などのお世話役がいると後援会活動の連絡が容易になるのではないかと、とのこと。教会に後援会のPRをする必要がある、信徒は牧師先生の指導で働くので牧師先生のご理解を得ることが大事ではないか、な

どと提言をいただきました。委員会としても今後の指針をいただいたものと感謝しています。

会の最後には、峰田会長から一言ありました。「ギブオンの精兵にもたとえられる集まりであつたと思う。都道府県単位や教区単位での集まりをもつて後援会にしたい、この単位での交流を深めることで活動がしやすくなる。献金だけではなく信徒の特技を用いて神学校の経営に貢献できるのではないかと思う。多面的に広く支援できる後援会となりたい。予想もできなかったほどの奉仕ができるのではないかと期待している。いずれにしても、今回の会をスタートとして今後の支援協力を宜しくお願いしたい。」

北野校長からは、「神学校に大事な人は人。神学校に関わる人を支える人がいなくてはならない。神学校を支える後援会がある事を心強く思う。神学校は信徒が経営していると理解してほしい。教団は信徒によって形成されている。神学校は教団組織に属しているのだから、神学校は信徒のものと云える。今回参加いただいた信徒各位に感謝している。」

多田顧問からは、「信徒の後援会と

して働いていただくため峰田兄にゆだねて安心している。各教会の牧師となつて卒業生の先生方が支援にあたっていただけることを期待している。併せて信徒の働く後援会として、多くの信徒が後援会会員となり支援に連なつていただけることを期待している。」参加者のほかに、会場前に居られた方にお聞きしたところでは、後援会の働きをもっと告知していただくと関心が高くなる。何よりも牧師先生が後押ししてくれると進んで会員になると思う、ということでした。後援会を盛り立てていくためには牧師先生の指導に負うところが大きいと感じました。



後援会会場となつた桜の間Ⅱ
(休憩室としても用いられました)

後援会便り5月号で全国に向けて案内し、7月に入り、関東北東教区、南西教区の教会に改めて呼びかけて開催した夏期ボランティアについて報告します。

野外BQと奉仕の集い

時：8月22日(土) 9時～15時

所：中央聖書神学校(教団本部)

予定通りに午前9時から開催されました。気温34度、暑い一日でしたが後掲の兄弟姉妹が参加してくださり教団本部並びに神学校校舎の裏手などの除草と池さらいに分かれて実施。

池浚いは、予め水を抜いて頂いたので鯉を別に移して池に溶けている落ち葉や泥をさらって穴に埋め込みました。水を注入して終了しました。北野校長は東日本大震災の折には被災地でかけて泥浚いや写真の洗浄に携わられた働きぶりをほうふつとさせる手際のでよいスコップ作業でした。



除草組は強い日差しの下での作業で汗みどろになっての奮闘でした。鍬、スコップ、鎌などを用いて徹底的な除草をしていただきました。一方作業と並行してバーベキューは小岩栄光キリスト教会の兄姉にご用意いただきました。



食事の後は食堂で参加者の所感やお証をお聞きしたのち北野校長、峰田会長からご挨拶があり、記念写真を撮って解散しました。

参加者は小岩栄光キリスト教会、十条キリスト教会、神召キリスト教会、中央聖書教会、めぐみ福音キリスト教

会の5教会からの牧師先生・宣教師・信徒の26名と神学校からは北野校長、安田主任、比嘉真奈美神学生(除草世話役)、川上哲司神学生(池さらい世話役)、事務方の青木師、榎本師、富山姉、賄い方の有末姉。総勢35名です。清掃奉仕の状況は川上神学生から夏期派遣から帰られた神学生の皆様に報告され、大いに喜ばれたとのことです。



《CBC後援会広報活動報告》

2015年5月以降の働き

〈峰田会長の主な活動〉

・5月17日 沖縄教区信徒大会(嘉手納アッセンブリー教会)に出席。講演に続き後援会のアピールをさせて頂きました。

・5月18日～29日まで四国10教会を巡回奉仕、併せて後援会の働きも訴えてきました。

・7月6日 教区長会議(駒込)に会長峰田と副会長松田が参加。後援会の活動報告をさせて頂くとともに、全国聖会の場で各教区の中核になって頂ける信徒のご推薦をお願いした。

・8月25日 東北教区教職会(仙台)に会長峰田が出席。趣旨説明と協力依頼を行う。

・10月12日 関西聖会(芦屋)に会長峰田が出席、第一聖会の中で後援会資料配布と働きの説明の時間を頂いた。

〈松田副会長の主な活動〉
・5月17日 大阪中央福音教会(大塚牧師)は晴天に恵まれた野外礼拝に参加し、支部づくりについてお話をさせて頂きました。

・5月24日には力丸嗣夫牧師の北九州シオン教会を訪問して後援会入会の勧めをさせて頂きました。

・10月3日(土)、4日(日)に高知西南聖会に招かれて、奉仕をさせて頂きました。牧師先生はじめ信徒の方々が、同じ信徒として信仰や愛に成長され、キリストのかぐわしい香りはなち、私自身が多く教えられ、恵まれて帰ることができました。

2015年会員募集中

後援会会計年度は1月～12月です。ここに当年度の前期6か月の間に会費を納入された方のご芳名を報告させていただきます。7月～12月に会費納入の方は後援会便り5月号に報告し、今号とあわせて2015年度会員の報告とさせていただきます。

2014年に会費を納入いただけました会員の皆さま、今年度も宜しくお願ひ申し上げます。なお、今年度会費納入有無の確認は神学校事務局の富山姉（水曜日、金曜日在局）にお問い合わせ下さい。

2015年1月～9月の収入状況。
 法人会員3社12万円、教会会員30教会
 25万円、個人会員、賛助会員、協賛献
 金119人68万円 合計135万円

2015年度 年次総会開催のご案内

会員は議決権をもっていますので、是非ご出席願ひます。まだ会員になつていない方も歓迎します。どうぞおいで下さい。

時.. 2016年2月27日(土)

13時30分～14時20分

お琴の演奏会

14時30分～15時30分

総会

15時30分～16時30分

茶話会(茶菓代500円)

所.. 中央聖書神学校チャペル

【会員募集のお知らせ】

～信徒の皆様への周知徹底のため
 に牧師先生並びに教会役員の皆様のお
 祈りとご支援をお願い申し上げます～
 1. ポスターチラシをご利用くだ
 さい。

「後援会員募集中」ポスターを牧師
 先生宛に送付させていただきましたの
 で掲示をお願いします。払込取扱票を
 刷り込んだ「後援会入会のお願ひ」チ
 ラシを信徒の皆様が利用しやすい状態

で提供してください。私たちの願ひは
 「全ての人が伝道の第一線に立つこと
 はできないかもしれませんが、召され
 た尊い人材のために祈り、支援するこ
 とは、すべての信徒に与えられた大切
 な使命です」との思いを共有してい
 たくことです。



- 2. 教区に支部を設ける
 会員がある程度増えた時点で、教
 区ごとに後援会のお世話をする支部を
 作りたくと願っています。
- 3. 検討中の事項
 後援会からの献金の用途を神学生
 への奨学金として指定する。

編集後記

第4号をお届けします。
 後援会の働きをご理解いただくとと
 もに、祈りとご参加をお願いします。
 寄稿歓迎。

